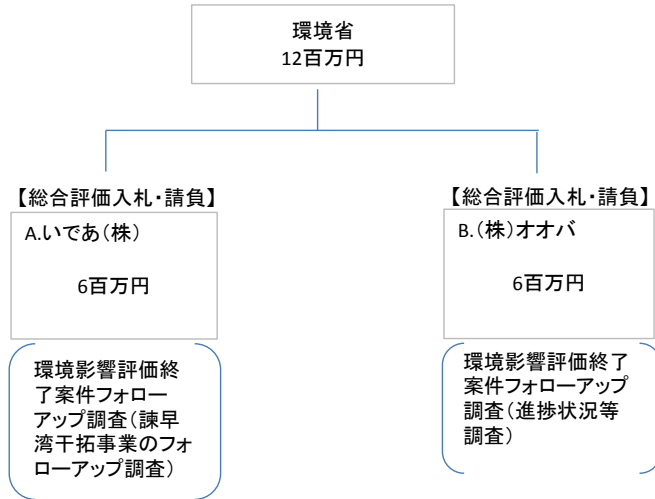


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境影響評価追跡調査費		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和53年度		担当課室	環境影響審査室		室長 小野 洋	
会計区分	一般会計		施策名	9-2 環境アセスメント精度の適切な運用と改善			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境影響評価法 第23条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施段階において環境保全について適切な配慮がなされること。</li> <li>・地域特性を踏まえた効果的な環境保全措置が実施されること。</li> <li>・アセス法に基づく事後調査等の実態を把握し、整理することで今後のより適切な事後調査の実施に資すること。</li> </ul>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境大臣意見を述べた事業、事後調査やレビューを実施することとされている事業等について、環境保全措置等の実施状況等を確認した結果を踏まえ、特に注目すべき案件について現地調査を行い、科学的に分析・検証するとともに、最新の予測・評価方法、環境保全措置の適用の可能性を検討することにより、当該事業における追加の環境保全措置の提案や、同種の事業におけるより良い環境保全措置の実施等を促す。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	18	14	14	0	0
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	18	14	14	0	0
	執行額	13	11	12			
執行率(%)	72%	79%	86%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	・事業実施段階において地域特性を踏まえた効果的な環境保全について適切な配慮がなされる。アセス法に基づく事後調査等の実態を把握し、整理することで今後のより適切な事後調査の実施に資する。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事後調査報告書より環境保全措置への取り組み状況等を現地調査も行いながら確認。道路事業及び発電所事業に係る環境大臣意見のデータベースを作成。	活動実績 (当初見込み)					( ) ( )
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠	本業務においては、定量的な成果目標及び活動指標を示すことが困難であるため、単位当たりのコストを算出出来ない。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
		0	0				
	計	0	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度の予算監視・効率化チームにより、初期の目的が達成されたため、廃止との所見を得たため、平成22年度をもって廃止。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	平成22年度の予算監視・効率化チームによる所見をふまえ、平成22年度をもって廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方で  
 実情が分かるように記  
 載)

A.いであ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境影響評価終了案件フォローアップ調査(諫早湾干拓事業のフォローアップ調査)	6			
計		6	計		0
B.(株)オオバ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境影響評価終了案件フォローアップ調査(進捗状況等調査)	6			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	環境影響評価終了案件フォローアップ調査(諫早湾干拓事業のフォローアップ調査)	6	1	93.69%

B.

1	(株)オオバ	環境影響評価終了案件フォローアップ調査(進捗状況等調査)	6	7	54.06%
---	--------	------------------------------	---	---	--------